



文責 本宮小学校長 佐久間仁

中学校体験入学



五日に中学校の体験入学が行われ、六年生が参加しました。

授業参観では、一年生から三年生の教室を訪問し、中学校の先輩方が学習に取り組む様子を見せていただきました。国語や数学、英語など、教科ごとに先生が替わることを知り、専門的な内容の学習が行われていることに驚いた様子でした。どこに何があるのかもよく分からず、緊張続きでしたが、知り合いの先輩の顔を見つけて微笑むなど、知っている人がいることに少しほっとした様子でした。説明会では、保護者と一緒に中学校生活の概要や学習面、生活面における取組などについて担当の先生のお話を聞きました。

特に、学習面では、定期テストで学年の順位が出ることや、予習

・復習など、自ら学ぶ姿勢が大切になることなど、進路実現を見据えた取組についてでした。また、生活面では、先輩・後輩の関係性を大切にし、礼儀正しい態度（あいさつ・返事）を重んじていることを教えていただきました。保健面では、睡眠時間を確保し、朝ご飯をしっかり食べることなど、小学校で取り組んでいる内容と共通することも多くありました。

中学生になるから、何か特別なことをするのはなく、小学校で取り組んでいる学習や生活を一つ一つ丁寧にしっかりと行っていくこと、そのベースともいえる毎日を健康に過ごすことが何よりも大切だと感じることができました。 ※保護者の皆様、お忙しい中、ご参加くださり、ありがとうございました。資料に目を通していただき、提出物などの準備をお願いします。



進学への期待が膨らみました

鬼は外、福は内



二日に節分集会を行いました。少し寒い中でしたが、全校生が集まって、全員で集会を楽しむことができました。集会では、クラスで追い出したい鬼を代表の子が発表したり、鬼をめぐって学級のみんなで一斉に豆まきを行ったりしました。教室には、一人一人が追い出したい心の鬼をカードに書いて掲示しました。面倒くさい、やりたくないなど、一人一人がもっている心の弱さに負けないで、生活していくという意気込みを感じて、嬉しいひとときでした。

【校長のお話】

これは何でしょう。節分で玄關などに飾る柗の葉です。豆がら（豆）もいわしの頭も鬼が嫌いなものばかりです。

でも、どうして節分には豆をまくのでしょうか。諸説ありますが、昔、都で鬼が暴れて困ったとき、煎った豆をまいて退治した故事にあやかっているようです。

地域によっては「おにそと」と唱える場所もあります。昔から続いてきたこの行事を大切にしたいですね。今日は元気に豆をまき、心の鬼を退治しましょう。

雪かきに感謝



五日から六日にかけて降った雪が二十センチほど積もり、学校の周りは一面銀世界になりました。学校のご近所の皆様や市から依頼された業者の方々が通学路や駐車場の雪かきをしてくださいました。水分を含んだ重い雪で、雪を片付けるのは相当大変だったと思います。皆様のご協力のおかげで、子どもたちや保護者、職員は安全に登校、出勤することができました。改めて学校が地域の皆様に見守られ、支えられていることを感じることができました。本当にありがとうございます。

※今後、大雪で安全に登校することができないと判断される場合は、登校時刻を遅らせるなどの対応をとる場合があります。その際は、保護者の皆様のご理解ご協力をお願いします。

【今後の予定（確認）】

- 第四回本宮小学校運営協議会
二月九日（金） 十八時半より
- 第二回PTA実行委員会
第六回PTA本部役員会
二月九日（金） 十九時より

※PTA総会などについて協議します。ご出席のほどお願いします。